

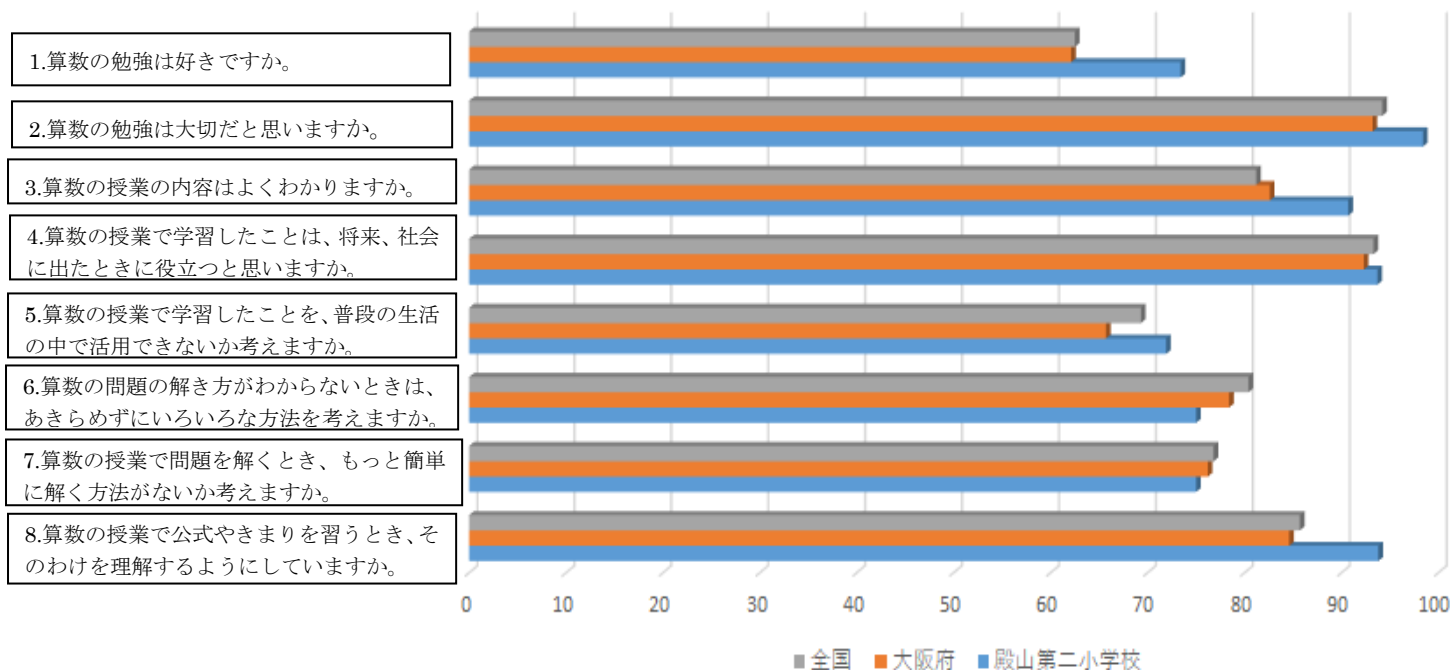
今回は、算数科学習について考えてみたいと思います。

## 算数の勉強は大切です！

下段のグラフは、先週お示ししましたものと同様の令和 4 年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙より算数科に関する設問の肯定的数値（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）を、全国・大阪府・本校と比較したものです。

国語科と同じように「1.算数の勉強は好きですか。73.4%」「2.算数の勉強は大切だと思いますか。98.4%」と、全国・大阪府の数値と比べても高い数値となっています。算数科学習に前向きに取り組もうとする意識がそだってきたと思われます。

算数科に関する項目



算数科学習は、1年生からの系統だった学習の積み重ねや社会的経験数値があって知識・理解・技能・表現力が身につけてきます。学校の授業では、基礎基本の学力を活かしながら、自ら考えて解を導くことが出来る思考力・応用力を育むために次のような取り組みをすすめています。

- \*授業の導入時や学習への集中力を持続させるために、具体物・テレビ・タブレット・書画カメラ等を提示・活用し、児童の興味関心を高めるように工夫しています。
- \*前時までの学習内容を復習する時間をとっています。また、必要に応じて100マス計算に挑戦します。
- \*黒板の内容と児童のノートを一体化させ、視覚的に考えやすい内容になるようにしています。
- \*一人で考える時間を確保し、ノートに考えたことを文章や図・絵で表現するようにしています。
- \*考えを互いに交流する時間を確保し、友だちに自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞く時間を大切にしています。
- \*授業の終わりには学習の“ふりかえり”の時間をとり、自分の言葉でわかったことや出来たこと、考えたことを文章に表すようにしています。

読むこと・きくこと・書くこと・表現することを通して、自身の考えを広め・深めていくことを日々の学校・家庭・社会生活の中で積み上げていきたいと思っています。